

**戦争をさせない**  
Anti-War Committee of 1000  
**1000人委員会**

1000人委員会ニュース  
NO.52  
(2016年11月24日)  
〒101-0063 東京都千代田区  
神田淡路町 1-15 塚崎ビル三階  
TEL03-3526-2920  
FAX03-3526-2921

# 南スーダンPKOの即時撤退を 戦争法の発動反対 11・19国会議員会館前行動に 3800人が参加

安保関連法＝戦争法が発動され、南スーダンPKOへの駆けつけ警護等の新任務付与が11月15日に閣議決定される中、戦争法の廃止を求めて毎月行われている19日行動が11月19日も開催され、3800人が国会議員会館前に参加。「南スーダンからの即時撤退!」「駆けつけ警護絶対反対!」「戦争法の即時廃止!」を訴えました。



集会は、戦争をさせない1000人委員会の山本圭介さんの司会で進行、始めに9条壊すな!実行委員会の菱山南帆子さんのリードで「戦争する国絶対反対!」「戦争法は今すぐ廃止!」「駆けつけ警護は絶対反対!」「南スーダンから今すぐ撤退!」などのコールを国会にぶつけました。そして、政党から、共産党の小池晃書記局長、民進党の初鹿明博衆議院議員、社民党の又市征治幹事長が挨拶。それぞれ、「野党と市民との力で安倍政権打倒を!」と訴えました。



続いて、戦争をさせない1000人委員会の内田雅敏さんが主催者を代表して挨拶し、「その昔、炭鉱ではカナリアが危険を察して警告を発した。私たちはいま日本がどのような事態にあるか警告を発するカナリアの役割を果たさなければならない。その上で、私たちのたたかいは、アジアの民衆との共闘、過去の戦争での死者との共闘、戦争をしない国を未来に

引き継ぐ未来との共闘でもある。ともに頑張ろう」と呼びかけました。

次に各団体からの挨拶として、米国で平和を求めて活動する退役軍人の会の「ベテランズ・フォー・ピース」をはじめ、「TPP阻止国民会議」、「高江のヘリパッド建設に反対する若者有志の会」、「一坪反戦地主関東ブロック」、「安保法制に反対する学者の会」、「さよなら原発1000万人アクション」、「エキタス」、「日弁連安保問題対策本部」等の代表が登壇しました。



ベテランズ・フォー・ピースのマイク・ヘンジさんは、アメリカが日本に原爆を落とし、東京空襲等全国各地を爆撃したことをまず謝罪し、イラク戦争に兵士として参加した体験を語りながら「PKO参加5原則が崩れている南スーダンに自衛隊は居るべきでない。イラク戦争の教訓は、国のリーダーの言うことをまずは疑うべきだということだ。

**【次ページへ】**

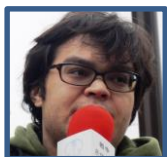
71年間も戦争しなかった日本は素晴らしい国だ。憲法9条は日本の宝だ。みなさん、ぜひ9条をまもってください！」と呼びかけました。



また、高江のヘリパッド建設に反対する若者有志の会を代表し元 SEALs 琉球の元山仁士郎さんは「うるま市の20歳の女性が元海兵隊に殺されて今日でちょうど半年だ。殺された女性の父親は『なげうちの子

は殺されなければならなかったのか、娘の無念を思うと気持ちの整理がつかいません。もう、私のような苦しみや悲しみを受ける人がいなくなることを望みます』と呼びかけている。沖縄県民の願いは基地の撤去だ。沖縄にも関心を示してもらい。共に声を上げてほしい」と訴えました。

時給1500円の最低賃金の実現をめざし、格差貧困問題に取り組む AEQUITAS (エキタス) の原田さんは、「安倍政権は社会保障を切り捨て、労働法制を改悪して国民の生活を破壊している。健康で文化的な生活—を規定する憲法25条違反だ。戦争のできる国作りと生活破壊の政治は表裏一体のものだ。経済的徴兵制の基盤はずでに出来上がっている、低賃金・長時間労働・過労死・過労うつ・不安定労働。僕たちは劣悪な労働の中で疲れ切っている。安倍政権は国民を守っていない。格差貧困問題・憲法25条違反問題。このことまで広げて安倍政権に抗議し、退陣を求めて行こう!!」と呼びかけました。



また、高江のヘリパッド建設に反対する若者有志の会を代表し元 SEALs 琉球の元山仁士郎さんは「うるま市の20歳の女性が元海兵隊に殺されて今日でちょうど半年だ。殺された女性の父親は『なげうちの子

は殺されなければならなかったのか、娘の無念を思うと気持ちの整理がつかいません。もう、私のような苦しみや悲しみを受ける人がいなくなることを望みます』と呼びかけている。沖縄県民の願いは基地の撤去だ。沖縄にも関心を示してもらい。共に声を上げてほしい」と訴えました。

次に、憲法共同センターの小田川義和さんが行動提起を行い「私たちは手を抜くわけにはい

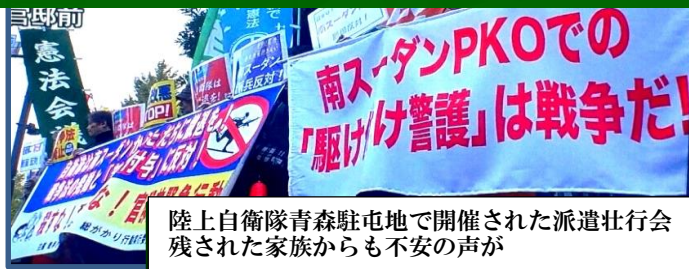


かない、12月も1月も19日行動を取り組む。国会の審議を監視する意味からも憲法審査会の傍聴、11月24日には議員面会所で憲法審査会報告集会。12月2日は違憲訴訟の報告集会。また、沖縄の新基地建設反対の取り組みを全国で展開し新基地建設反対統一署名を成功させよう。12月10日には日比谷野音で沖縄新基地建設反対集会。12月21日に市民連合が衆議院選挙勝利を目指す集会をやる。ぜひ力を寄せ合って成功させよう」と訴えました。



# 駆けつけ警護・宿営地共同防衛 南スーダンPKOへの新任務付与 11月15日の閣議決定糾弾!

## 首相官邸前で抗議集会



陸上自衛隊青森駐屯地で開催された派遣壮行会  
残された家族からも不安の声が

南スーダンPKO部隊への「駆けつけ警護」・「宿営地共同防衛」の新任務付与の閣議決定が行われた11月15日、総がかり行動実行委員会は、首相官邸前で早朝7時45分から抗議集会を開催、350人が集まり抗議の声を上げた。内戦状態が続きPKO参加5原則も崩壊する中、自衛隊が殺し殺される事態へ、いよいよ突入することとなる。



# 市民連合が野党4党と意見交換会 衆議院選挙での連携強化を確認



市民連合（安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合）は、野党4党（民進党・共産党・社民党・自由党）との意見交換会を11月17日に開催。来るべき総選挙に向けて、政策協議を重ね、野党共闘と市民との連携を強めていくことを確認しました。



意見交換会は、福山哲郎民進党幹事長代理の司会で進行。政党側は民進党から野田佳彦幹事長、山尾志桜里国民運動局長、共産党から小池書記局長、穀田恵二国対委員長、社民党から又市征治幹事長、自由党から玉城デニー幹事長が出席。民進党の野田幹事長は冒頭「安倍政権に対抗するには市民との連携が必要。できる限りの協力していく」と述べました。

市民連合の側からは、学者の会（安全保障関連法に反対する学者の会）、ママの会（安保関連法に反対するママの会）、総がかり行動実行委員会、立憲デモクラシーの会、元SEALDsのメンバーらが出席。まず、市民連合を代表して山口二郎さんが「安倍政治に対抗する明確な対抗勢力・別の選択肢を提起することが喫緊の課題だ。まずはどのような日本を作るのか、目指すのか、その議論を積み重ね、政策と私たちの方向性をしっかりと示し、そのうえで参院選で、できた地域レベルでの運動、労働組合と諸団体等のつながりを持続させて総選挙をたたかうことが重要だ。」と提起しました。

また、総がかり行動実行委員会の福山真劫さんは「憲法と立憲主義を破壊して暴走する自公政権と対抗するには、野党共闘の中にしか希望が持てない。安保法の廃止の課題だけではなく格差貧困問題など現実の生活に則した政策を展示して希望をつなぎ、幅広く訴えていくことが大事だ。自民党の狙いは野党共闘をつぶすこと。我々は野党共闘を組み立ててがんばり抜くしか希望を実現する手立てはない。野党のみなさんのご奮闘をお願いしたい」と述べました。また、他の各代表らも、衆議院選挙で勝利するために、野党共闘と市民の連携をさらに強め、市民との政策協議を重ねることの重要性についてそれぞれ意見表明しました。

その後、今後、政策協議を定期的に開催していくことなどを全体で確認して意見交換会を終了しました。



辺野古新基地反対・高江オスプレイパッド反対  
沖縄の基地建設反対統一署名を  
成功させよう！

# 自衛隊を南スーダンに送るな！いのちを守れ！ 10・30 青森現地集会を開催

10月30日、冷たい雨が時よりばらつく中、南スーダンPKOへの自衛隊派遣に反対する現地集会が青森県青森市で開催され、1250名が参加しました。参加者は集会后「自衛隊の南スーダンへの派遣反対、自衛隊員の命を守れ、南スーダンからの即時撤退を！」と叫び、市内をデモ行進しました。

集会は、戦争法廃止を求める青森県民ネットワークと総がかり行動実行委員会の共催で開催され、最初に主催者挨拶として青森県9条の会共同代表の神田健策さんが挨拶しました。神田さんは「戦後初めて日本の自衛隊が海外で殺し殺される事態が現実のものになろうとしている。私たちはこれ以上安倍政権の継続を許してはならない。野党共闘と市民の力で参院選では東北6県のうち、この青森を含む5県で勝利することができた。衆院選挙でも野党と市民の力で与党議席の大幅減少が可能だ、安保法の全面発動、殺し殺されることが現実となる南スーダンへの自衛隊の派遣に反対しましょう」と呼びかけました。

また、総がかり行動実行委員会の高田健さんが南スーダン情勢の報告を行い、「武力紛争が発生し、たくさんの犠牲者が出ている南スーダンがPKO参加五原則も崩れた内戦状態にあることは明らかだ。しかし、安倍政権は、『現地は安定している』



とか、『衝突でしかない』などごまかし、アメリカと一緒に世界で戦争ができる道を確認するため、南スーダンでのPKO駆けつけ警護等の実績を確認しようとしている。何としても認めるわけにはいかない。これを阻止するには、全国で声をあげるとともに、野党と市民の力を結束させて安倍政権を打倒するしかない。この道しかない」と訴えました。

## ◆◆◆◆ 主な行動日程 ◆◆◆◆

### ■12月2日(金) 10:30~

- ◇国賠訴訟第2回口頭弁論 ・東京地裁 103号法廷
- ◇裁判報告集会 13:00~ ・参議院議員会館 101 (1階)

### ■12月10日(土) 13時開場、13:30開会、デモ15:10~

- ◇高江オスプレイパッド、辺野古新基地建設を許さない東京集会
- ・場所：日比谷野外音楽堂
- ・内容：オープニングライブ 寿
- ・沖縄からの訴え・各政党・文化人からの訴え
- ・横田、木更津からのアピール
- ◇主催：基地の県内移設の反対する県民会議、  
「止めよう辺野古埋立て」国会包囲実行委員会、  
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

### ■12月19日(木) 18:30~

- ◇戦争法廃止！安倍政権の暴走止めよう！国会前行動(仮称)
- ・場所：議員会館前集会 ・主催：総がかり行動実行委員会

### ■12月21日(水) 10:30~

- ◇差し止め訴訟第2回口頭弁論 ・東京地裁 103号法廷
- ◇裁判報告集会 13:00~ ・参議院議員会館 B107 (地下1階)

### ■12月21日(水) 18:30~

- ◇衆議院選挙をどう戦うか~立憲政治の再生を~
- ・場所：北とびあ・さくらホール
- ・内容：基調講演・石川健治さん(東大教授)、パネルディスカッション、
- ・主催：市民連合(安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合)